



上末っ子

平成31年4月26日

5月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い 支え合い 一人ひとりが輝く上末っ子 【学び合い】【共生】【自立】 ～

あたりまえのことを あたりまえに

校長 矢島 孝幸

学校前のバス通りのツツジが美しい花を開かせ始めました。気づくと日中は、上着を脱いで生活している時間が多くなり、春の心地よい暖かさを感じます。新年度がスタートして約3週間が経ちました。上末っ子は、元気に活動しています。子どもたちの明るい笑顔は、学校を活気づけてくれます。

新年度がスタートして二日目、二年生の男の子が「校長先生、二年生になって、今までよりもっともっと頑張ります。」と朝から声をかけてくれました。私はその言葉にとても勇気もらいました。また、その数日後、見送りに来た保護者の方が「〇〇、頑張るんだよ。」という声かけに対して「今日も頑張るよ。」と大きな声で答える一年生。その姿に頼もしさを感じました。新年度になり、頑張っている上末っ子はたくさんいます。昼休みに運動場へ出ると一年生が鉄棒をしていました。逆上がり補助具を上手に使って逆上がりを楽しんでいました。一年生もだいぶ小学校生活に慣れ親しんできているようです。給食の時間は六年生が給食



準備の手伝いをしています。一人一人の目線に立って優しく声をかけながら盛り付けをしている六年生。食器の並べ方を確認して、教えてあげたり、直してあげたりしている姿も見られます。クラスによっては、配膳を待っている一年生に本を読み聞かせています。六年生の優しさに安心している一年生の様子がたくさん見られます。一年生を大切にしている六年生の姿は、とても頼もしく輝いています。さすが上末っ子の最上級生です。小さなかかわりかもしれませんが、相手を意識したかかわりで思いやりの心が育まれます。小さなかかわりを重ねて自尊感情が高まることも期待します。友達や仲間、先生とのかかわりが溢れている、そんな学校を目指していきたいと思います。

今年度も子どもたちには『あたりまえのことを あたりまえにやろう』と話をしました。「あいさつ」「返事」「清掃」「ルールを守る」等、日常生活の中で『あたりまえのことを』確実にできることが、落ち着いた日々につながり、楽しい毎日を過ごせるようになります。あたりまえのことをあたりまえにすることで、一步前進できる土壌が整います。今年度もこの言葉を繰り返し伝え続け、あたりまえのことがあたりまえにできる上末っ子を育てていきたいと思っています。来月末には運動会を予定しております。一人一人の活躍はもちろんのこと、あたりまえのことができる上末っ子の姿をぜひ楽しみにしてください。